

1. 科目名 (単位数)	保育内容 (環境) (2 単位)	3. 科目番号	SS0T3414
2. 授業担当教員	和崎 光太郎		SC0T3414 SJMP3133
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である「教育」を構成する5領域のひとつである「環境」のねらいと内容を理解し、子どもを取り巻く環境について具体的な保育内容を検討しつつ学びを深めることで、総合的に保育を展開していくために必要となる理論や知識を習得する。特に、幼児期において育みたい「資質・能力の三つの柱」の視点を念頭に、身近な環境とのかかわりから導かれる子どもの育ちを理解した上で、好奇心や探究心を持って子どもが自ら活動に取り組むことのできるような環境の設定方法について学ぶ。演習形式で学ぶことにより、本講義で習得した理論や知識への理解をさらに深め、実際の保育現場での指導につながる実践力を養う		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「環境」について学び、養護と教育にかかわる保育の内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を習得する。 ・子どもの発達を領域「環境」の観点から捉え、子ども理解を深めながら保育内容について具体的に学び、実践できるようになる。 ・子どもと子どもを取り巻く身近な環境との相互作用から導かれる子どもの育ちを考察し、保育計画に基づいて環境を具体的に設定することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	グループディスカッション等で授業態度を評価する。 グループディスカッション後の提出物を小レポートとする。 期末レポートの内容は、①領域「環境」を幅広く的確に把握できているか、②環境構成の理解度、であり、授業中に具体的に指示する。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書 (この3冊は必ず授業に持参)】 東義也編『シリーズ知のゆりかご 子ども姿からはじめる 領域・環境』みらい ※下記「14」における「教科書」とはこの本のことを指す。 文部科学省「幼稚園教育要領」(平成29年3月告示) 厚生労働省「保育所保育指針」(平成29年3月告示) 【参考書】 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示)		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1) 領域「環境」について学び、養護と教育にかかわる保育の内容が、それぞれに関連性を持ち、総合的に保育を展開していくための知識、技術、判断力を習得することができた。 2) 子どもの発達を領域「環境」の観点から捉え、子ども理解を深めながら保育内容について具体的に学び、実践できた。 3) 子どもと子どもを取り巻く身近な環境との相互作用から導かれる子どもの育ちを考察し、保育計画に基づいて環境を具体的に設定する方法を理解することができた。 ○評定の方法 上記の学習目標に基づいた規準を以下の方法で総合的に評価する。 1. 出席、参加、発表等から授業に取り組む姿勢 「授業態度」 (20%) 2. 各授業内の課題、中間レポート等 「小レポート」 (20%) 3. 学習内容を総括する課題 「期末レポート」 (60%)		
12. 受講生への メッセージ	「事前学習」と「事後学習」は必ずやってくること (計180分)。やってきている前提で、授業中に発言・グループディスカッションを求める。「事前学習」と「事後学習」における熟読とは、他者に説明できるくらい深く内容を理解することを意味する。 第1回～第7回が領域に関する専門的事項、第8回～第15回が保育内容の指導法に該当する。		
13. オフィスアワー	授業中に提示する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション (授業概要・学習の説明) 環境構成と領域「環境」の重要性・違いについて グループディスカッション	事前学習	シラバスを読む
		事後学習	「教科書」序章を熟読
第2回	「環境」とは何か (「教科書」第1章)	事前学習	「教科書」第1章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第3回	子どもの発達と環境 (「教科書」第2章)	事前学習	「教科書」第2章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第4回	グループディスカッション①	事前学習	「教科書」第1章レッツトライ①、第2章レッツ トライ③・②1をwordで作成、印刷して授業に持参 する。
		事後学習	上記レッツトライを授業内容に基づいてブラッ シュアップ (提出期限は授業中に伝える)
第5回	子どもを取り巻く環境と課題 (「教科書」第3章)	事前学習	「教科書」第3章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの

			ところを熟読
第6回	保幼小接続①：環境・体験の質と学びの展開（「教科書」第4章）	事前学習	「教科書」第4章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第7回	グループディスカッション②	事前学習	「教科書」第3章レッツトライ②、第4章レッツ トライ①を word で作成、印刷して授業に持参する。 小学1年生のスタートカリキュラムは web での入 手・参照でも可。
		事後学習	上記レッツトライを授業内容に基づいてブラッシ ュアップ(提出期限は授業中に伝える)
第8回	要領・指針における領域「環境」（「教科書」第5 章）	事前学習	「教科書」第5章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第9回	具体的な保育環境とその活用（「教科書」第6章）	事前学習	「教科書」第6章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第10回	グループディスカッション③	事前学習	「教科書」第5章レッツトライ①について自分の意 見を word でまとめ印刷、第6章レッツトライ①を 手書きで作成、どちらも授業に持参する。
		事後学習	上記レッツトライを授業内容に基づいてブラッシ ュアップ(提出期限は授業中に伝える)
第11回	情報機器の活用と工夫（「教科書」第7章） 期末レポート課題について説明	事前学習	「教科書」第7章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第12回	環境構成を軸とした保育の計画・記録・評価（「教 科書」第8章）	事前学習	「教科書」第8章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第13回	グループディスカッション④	事前学習	「教科書」第7章レッツトライ②、第8章レッツト ライ①について自分の意見を word でまとめ、印刷 して授業に持参する。
		事後学習	上記レッツトライを授業内容に基づいてブラッシ ュアップ(提出期限は授業中に伝える)
第14回	保幼小接続②：環境構成・領域「環境」と生活科 （「教科書」第9章）	事前学習	「教科書」第9章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読
第15回	これからの子どもをめぐる環境と海外の保育環境	事前学習	「教科書」第10章を熟読
		事後学習	授業中に記したマーカー、アンダーライン、メモの ところを熟読